

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	14,579	17,581	0
事業費計		(千円)	0	14,579	17,581	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	3.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	116.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	24,988		
事業コスト		(千円)	0	39,567		

R02年度当初積算根拠

予算の方向性	理由
維持	

方向性

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない、又は不明である。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	045 働き方改革推進事業								
戦略プラン	IV	4	1	行政改革の推進	担当部課 係名	総務部ワークライフバランス推進課			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	法定+任意			
予算科目	01-020102-15		ワークライフバランス推進に要する経						
要求区分			事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
個別計画	つくば市特定事業主行動計画、つくば市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
					<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令	次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法				事業体制		一部委託		
	市長公約		11	16					
概要									
事業の目的					事業の概要				
長時間労働の是正等を促進し、職員の労働生産性の向上及び健康保持・増進を図り、すべての職員が持てる能力を最大限発揮できる環境を整え、ワークライフバランスを実現することで、より良い施策、行政サービスを市民に提供することにつなげることを目的とする。					<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場環境等の整備や女性職員活躍を推進する。 働き方の見直しに重点をおき、職員の意識改革、時間外勤務の縮減、業務改善活動等に取組む。 多様で柔軟な働き方の実現に向け、制度等の検討及び休暇等の利用促進を図る。 ※行政改革アクションプラン「29 ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進」該当事業				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> RPA活用推進、AI-OCR一部導入、RPAシナリオ他自治体共有（7月～）、業務プロセスの可視化と見直し(BPR)支援活動、部長級職、員の牽引による業務改善活動の推進、部内外応援制度の改善検討サービス残業撲滅の啓発 業務スクラップに関する財政、企画、総務、人事部門と連携した活動、(仮称)ワークライフバランス推進計画策定 ワークライフバランス推進強化月間の実施(9月、12月) 時差出勤制度試行実施、育児休業取得促進、ハラスメント防止に関する啓発、勤休管理システム改修 					<ul style="list-style-type: none"> RPA/AI-OCRの導入支援及び他市町村との情報共有、BPR支援、イノベーションスイッチによる共同研究(業務可視化ツール、AI議事録)、預金調査電子化支援、幼児保育無償化等事務効率化支援、DBソフトによる効率化支援、ワークシェアリング制度検討、庁内向け業務改善イベント開催(4回)等 つくば市職員のワークライフバランス推進プランの策定(R2年3月)、時差出勤制度試行実施(通年)、育児休業及び介護休暇制度等の周知、ハラスメント防止に関する啓発及び管理職セミナーの実施(2月)、ハラスメント規程策定(3月) 				
成果					課題				
<ul style="list-style-type: none"> RPA19部署、AI-OCR15部署、BPR支援3部署。業務可視化ツール1部署及び教員、AI議事録14部署で試験導入。預金調査電子化運用開始。ワークシェアリング制度は、素案作成済み。DBソフトは2部署へ効率化支援。 働き方に対する意識改革が職員に広がり、男性職員の育児休業取得率が大幅に向上した。 改善目標（R02年度にむけて）					<ul style="list-style-type: none"> 各ICTは現在対象部署数を増やすことに注力するフェーズであるものの、稼働率が低いため、順次導入部署内での利用を促進するフェーズに移行する必要がある。 介護と仕事の両立について、制度等を周知するだけでは、漠然とした不安が解消できないため、さらなる取組が必要 男性職員の確実な育児休業取得に向けた更なる支援が必要 				
<ul style="list-style-type: none"> RPA/AI-OCRは、既に導入済の部署において導入促進のため周知を図る。AI議事録については、特に効果が認められるため導入検討。DBソフト等既存のソフトを使つての効率化も図る。 介護と仕事の両立支援についても、職員からのニーズが高くなっているため、民間事業者との連携協定を活用した介護セミナーを実施する。また、男性職員の育児休業取得促進に向け、育児休業取得計画表の策定等に取組む。 									
指標の推移									
1	指標名	年間360時間を超える時間外勤務実施者数 (人)					活動指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	69.0	66.0	63.0	59.0	55.0	0.0	
	実績	73.0	109.0	96.0	88.0	75.0	66.0	0.0	
	指標の概要	年間360時間を超える時間外勤務をした職員数を毎年度5%程度減少させる。							
2	指標名	年次休暇の取得率 (%)					成果指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	90.0	90.0	90.0	90.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	65.5	67.0	68.0	69.0	0.0	

	指標の概要	年次休暇（年間20日に対して）の取得率を90%以上にする。 ※行政改革アクションプラン「29 ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進」該当指標						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,017	6,574	0	0
事業費計		(千円)	1,017	6,574	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	3.00	6.50		
		時間外勤務 (時間)	70.00	102.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	21,345	46,125		
事業コスト		(千円)	22,362	52,699		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
維持		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		